

# 土石防だより

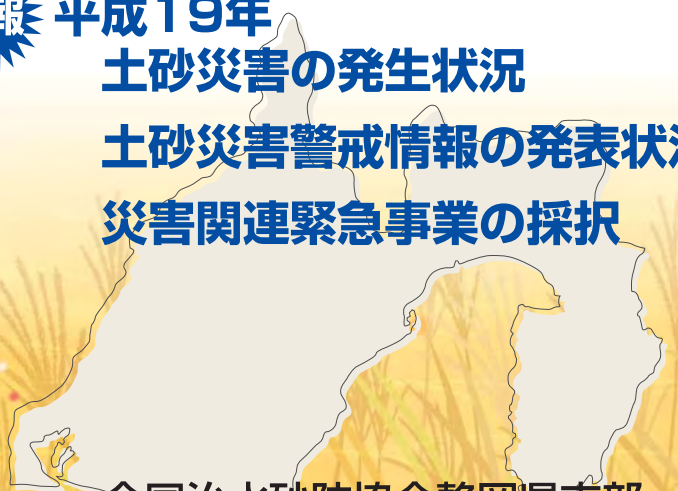


秋景色（芝川町）



## 平成19年 土石災害の発生状況 土石災害警戒情報の発表状況 災害関連緊急事業の採択

平成19年土石災害の発生状況 .....	2
土石災害警戒情報の発表状況 .....	3
土石災害防止施設の効果	
災害関連緊急事業の採択 .....	4
市町長の有珠山火山砂防事業等視察 .....	6
死者ゼロの実現に向けての緊急提言 .....	8
インフォメーション .....	9
お知らせ .....	11





# 土砂災害の発生状況

土砂災害は、降雨や地震などにより突然発生し、尊い生命や貴重な財産を一瞬にして奪い、地域に深刻な被害をもたらします。

土砂災害は全国各地で毎年発生し、過去10年間では年平均約1,060件も、また、県内においては年平均約45件発生しています。

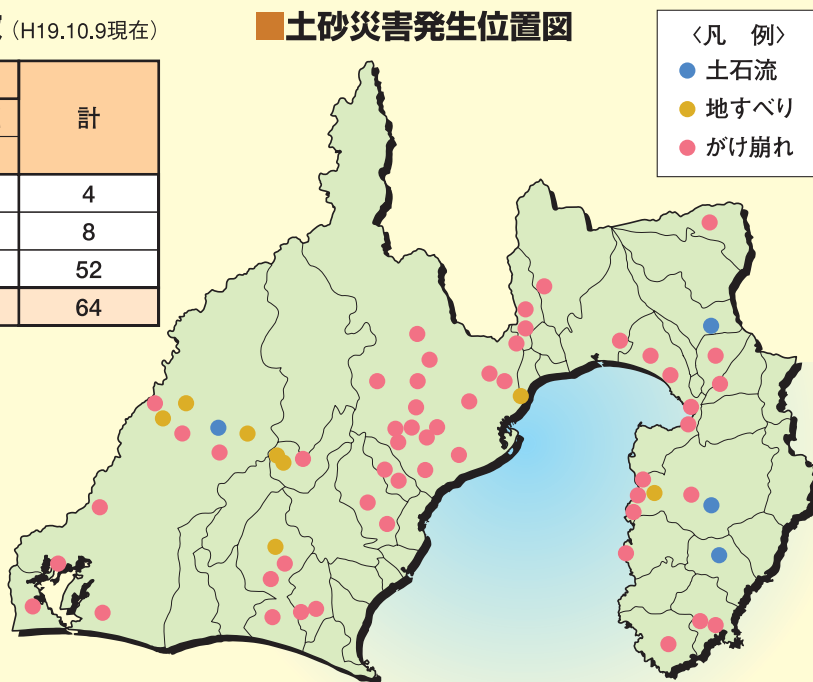
平成19年には県内でも、台風4号や台風9号による被害が多く、64件（10月9日現在）の土砂災害が発生していますが、幸いにも人的被害はありませんでした。

このうち、「馬場山崎（伊豆市土肥）」など9箇所において、崩壊した土砂を止め、人家を保全するなど、土砂災害防止施設が効果を発揮しました。

■平成19年 県内の土砂災害発生件数 (H19.10.9現在)

種別	発生日と気象状況			計
	～6月9日まで	7月14～15日	9月6～7日	
	豪雨	台風4号	台風9号	
土石流	0	2	2	4
地すべり	1	7	0	8
がけ崩れ	4	34	14	52
計	5	43	16	64

■土砂災害発生位置図



がけ崩れによる被害（「寺ノ谷」：掛川市中方）



地すべりによる家屋への土砂の押し出し（「峰」：川根町峰）



土石流により被災した人家（「大場川」：裾野市茶畑）

# 土砂災害警戒情報の発表状況

静岡県と静岡地方気象台は、住民の早期避難を促進し、土砂災害による人的被害を未然に防ぐため、土砂災害警戒情報を発表しています。

6月15日の運用開始以降、現在までに3回の警戒情報を発表しました。

土砂災害警戒情報が発表されたら、危険な箇所の周辺に住む方々は、早めに安全な場所へ避難するように心掛けましょう。

## 土砂災害発生前に避難した事例（裾野市茶畑地区）

大場川で発生した土石流により人家2戸が損壊する被害が発生しましたが、住民の方は事前に避難していたため、人的な被害はありませんでした。

9月6日 11:25 大雨警報発表  
 20:40 土砂災害警戒情報発表  
 9月7日 0:30 自主避難開始（2世帯5名）  
 1:00 土石流発生

## 土砂災害警戒情報発表履歴

事象	発表日時	発表市町	土砂災害発生件数
梅雨前線豪雨	7月11日1時20分(第1号)～ 7月11日7時20分(第3号)	下田市、南伊豆町、伊豆市 (3市町3地区)	0
台風4号	7月14日23時55分(第1号)～ 7月15日12時20分(第7号)	河津町、沼津市、伊豆市、富士市、芝川町、静岡市北部、 静岡市南部、富士川町、由比町、島田市、藤枝市、川根町、 川根本町、掛川市、森町、浜松市北部 (15市町16地区)	43
台風9号	9月6日15時50分(第1号)～ 9月7日12時35分(第8号)	東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、熱海市、沼津市、 三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、 小山町、静岡市北部 (14市町14地区)	16
合計		32市町33地区	59

# 土砂災害防止施設の効果



崩壊した土砂を食い止めた擁壁



土砂崩壊の状況(斜面上部より)



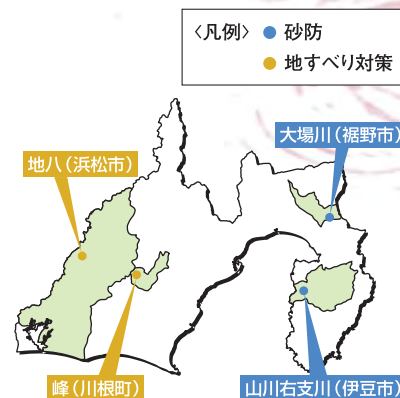
## 馬場山崎（伊豆市土肥）

台風9号によりがけ崩れが発生しましたが、急傾斜地崩壊防止施設（擁壁工）により土砂を食い止め、被害を未然に防止し、地域の安全に貢献しました。



# 台風4号・台風9号による土砂災害 災害関連緊急事業の採択

平成19年は、台風4号（7月14～15日）や台風9号（9月6～7日）などにより、県内で64件（10月9日現在）の土砂災害が発生していますが、人的被害はありません。このうち、災害規模が大きく、次期降雨等により被害が拡大するおそれがある4箇所においては災害関連緊急事業を申請し、迅速に対応しています。



## 平成19年度災害関連緊急事業 実施状況

（平成19年10月9日現在）

事象	区分	箇所名	位置	事業費 (百万円)	事業内容	採択日
台風4号	土石流	山川右支川	伊豆市土肥	146.9	砂防えん堤工	H19. 8.7
	地すべり	峰	川根町家山	319.7	集水井工3基	H19. 8.7
	地すべり	地八	浜松市天竜区佐久間町	190.1	集水井工3基	H19. 8.7
台風9号	土石流	大場川	裾野市茶畑	207.3	砂防えん堤工	H19.10.9
合計		4箇所		864.0		

## 峰地区 (川根町) 災害関連緊急地すべり対策事業

川根町峰地区で、7月14～15日の台風4号により地すべりが発生し、住宅への被害が発生しました。

### 事業概要

事業費：319.7百万円  
 事業内容：集水井工 3基  
 集水ボーリング工 L=3,000m  
 法面工 A=1,440㎡

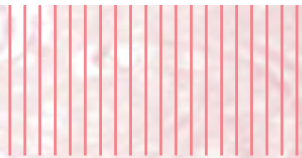


地すべり末端の土砂崩壊



崩壊土砂に押された人家





# 大場川(裾野市)災害関連緊急砂防事業

大場川の上流域では、9月6～7日の台風9号により、山腹が数箇所崩壊し、土石流となって住宅2戸の損壊などの被害が発生しました。

## 事業概要

事業費：207.3百万円

事業内容：砂防えん堤工（鋼製スリット）  
高さ 8.5m、堤長 45.0m



上流域では多くの山腹崩壊が発生



溪流には多量の土砂や流木が堆積



土石流により被災した住宅



流木による被害



# 有珠山火山砂防事業等の視察

平成19年8月23～25日の日程で、原田団長(袋井市長)以下22名が、有珠山(北海道)の火山砂防事業を視察しました。

会員による視察は、当協会が毎年実施しており、会員(市町長)が砂防関係事業先進地を視察し、生きた教訓を吸収することで、土砂災害に関する見聞を広め、防災知識の周知・普及を図ろうとするものです。

有珠山は、平成12年3月31日に噴火し、熱泥流の流下、噴石や地殻変動による家屋の破壊、国道230号の通行不能など被害は甚大でしたが、3月29日の気象庁からの「緊急火山情報」により周辺3市町(壮瞥町・虻田町(当時)・伊達市)で1万人余りが事前避難し(噴火後に避難者数は最大約1万6千人まで拡大)、人的被害は発生しませんでした。



洞爺湖サイロ展望台にて(背景は有珠山)



## 参加市町等

袋井市、河津町、伊豆市、牧之原市、伊豆の国市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、函南町、芝川町、由比町、裾野市、静岡市、富士川町、下田土木事務所、富士土木事務所、静岡土木事務所、砂防室(事務局)

## 日 程

- 8月23日(木) 札幌市内宿舎集合
- 8月24日(金) 洞爺湖町役場(洞爺湖町)  
有珠山金毘羅火口災害遺構・火山科学館・砂防施設(洞爺湖町)  
昭和新山・三松正夫記念館(壮瞥町)
- 8月25日(土) 駒ヶ岳(森町の道の駅より)  
函館空港解散

## 洞爺湖町役場を訪問

洞爺湖町の長崎町長より、過去に発生した有珠山噴火の現象や役場の対応、自らの体験に基づいた災害時における危機管理や首長としての行動などについて説明をしていただきました。



長崎 洞爺湖町長の説明



熱心に長崎町長の説明を聴く参加者のみなさん



## ● 金毘羅火口災害遺構・火山科学館

室蘭土木現業所の飯塚企画調整室長から、鋼製の砂防構造物を積極的に採用した有珠山火山砂防施設について説明していただきました。

また、現地には今でも噴火当時に泥流で被災した建物が当時のままに保存されており、噴火及びその後の降雨による土石流による被害の凄まじさを生々しく物語っています。



金毘羅火口前の遊砂地にて（背景は遺構や鋼製えん堤）



室蘭土木現業所飯塚室長の説明

## ● 昭和新山・三松正夫記念館

戦時中に噴火し、今も噴煙が見える「昭和新山」（特別天然記念物）を見学しました。噴火当時は、実は伏せられ、公的な観測すら行われませんでした。地元の郵便局長・三松正夫氏は、その詳細な観測記録を作成しました。「三松正夫記念館」には、寝食を忘れて残した、膨大で精緻な記録が展示されており、氏の偉大な足跡を知りました。なお、三松氏は、火山の徹底的な保護と、家や農場を失った住民の生活の支援のため、隆起により山になってしまった畑などを買い取っており、昭和新山は私有地内にある火山です。



昭和新山（1943年12月から1945年9月までに17回噴火）



三松正夫記念館（昭和新山資料館）

## 視察団 団長より

■ 副支部長 原田 英之（袋井市長）

過日、全国治水砂防協会静岡県支部の県外視察で、北海道の有珠山火山砂防事業等を視察しました。晴天に恵まれ、また北海道の涼やかな気候に接し、大変有意義な視察となりました。洞爺湖町では、北海道洞爺湖サミットの準備で御多忙中にも関わらず、町長自ら御説明いただき、また室蘭現業事務所からは火山砂防事業の現地説明をしていただきました。関係者の皆様の多大な御協力と御配慮に厚く御礼申し上げます。

今回の視察で得られた知見を、今後の地域づくりや砂防関係事業の推進に役立ててまいりたいと思います。

参加者各位の御協力により全員無事に全日程を終えることが出来ましたことを心より感謝いたします。



# 死者ゼロの実現に向けての緊急提言

## 緊急提言

我が国では毎年1,000件を超えるような多くの土砂災害が発生している。今年もすでに、能登半島沖地震や梅雨前線豪雨、台風第4号、そして新潟県中越沖地震等により、500件を超える土砂災害が発生している。

このような状況において、脆弱な国土の荒廃を防ぎ、尊い人命や貴重な財産が土砂災害により失われることがないよう、国はその責任を十分に認識し、国民の安全・安心を確保するため、必要な対策を地方公共団体と連携しつつ早急に講ずるべきである。

繰り返される土砂災害による被害を防止し、死者ゼロの実現を目指して下記に示す緊急提言を行うものである。

記

1. 国は、近年の激甚な土砂災害の発生状況や、地球温暖化に伴う気候変動による影響等を踏まえ、国民の生命、財産を土砂災害から守り、地域の安全・安心を確保するため、砂防関係事業を強力に推進するための十分な予算を確保すること。
2. 国は、豪雨や火山噴火、大規模地震等により発生する全国の様々な土砂災害から得られた知見や経験を活かし、土砂災害に対するハード対策とソフト対策を有機的に連携させた施策を全国に展開するなど強力なリーダーシップを発揮し、土砂災害対策を推進すること。  
特に次の事項に重点を置くべきである。
  - (1) 砂防えん堤等による施設整備に際しては、災害時要援護者関連施設や避難場所、地域の防災拠点等を守る事業に重点化し、これらの対策を早急に完了させること。
  - (2) 土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定を促進し、警戒避難体制の整備や土地利用の適正化等をすすめるとともに、市町村長が避難の指示・勧告を速やかに入るよう情報伝達を充実させるため、国は技術的、財政的支援を強力に行うこと。
  - (3) 大規模な土砂災害が発生した際、国の土砂災害に対する専門的技術に基づいて、その人的、物的資源等を適確に活用するなど万全な危機管理体制を整備すること。

以上、緊急提言する。

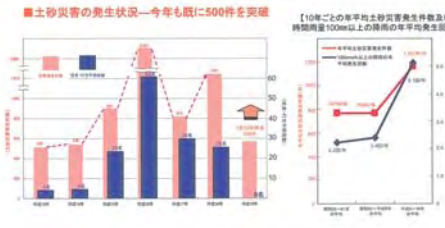
平成19年8月1日

社団法人 全国治水砂防協会  
会長 綿貫民輔



（社）全国治水砂防協会では、平成19年8月1日に開催された理事・顧問会議において、砂防関係事業の現状を憂慮し、土砂災害による死者ゼロの実現に向けての緊急提言を決議し、直ちに国会及び政府に要望活動を行いました。

## 死者ゼロの実現を目指して 一人命を守る土砂災害対策の推進—



社団法人 全国治水砂防協会

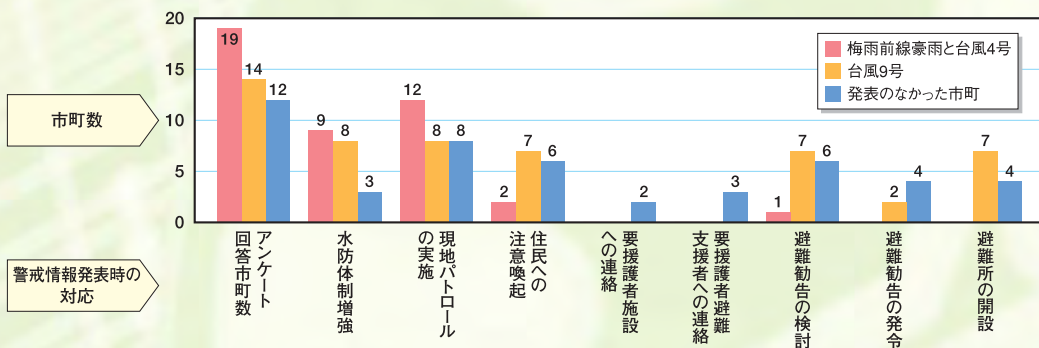
## ●土砂災害警戒情報に関するアンケートの結果

会員の皆様には、土砂災害警戒情報の発表と対応について、県砂防室及び全国治水砂防協会本部からのアンケートに御協力をいただき、ありがとうございました。

これらの回答を集計しましたところ、「警戒情報発表後の各市町の対応」では、「水防体制増強」「現地パトロールの実施」「住民への注意喚起」が多く、台風9号では「避難勧告の検討」を行った市町が多くありました。今後とも、豪雨の際は、土砂災害警戒情報の発表に注意するとともに、発表の際は適時適切な対応をお願いいたします。

また、「警戒情報の改善点」については、危険性が高まっているメッシュと土砂災害危険箇所等との位置の明示を求める御意見が多く、インターネット配信の「土砂災害危険箇所マップ」にメッシュ番号を表示するよう変更しました。

質問:土砂災害警戒情報が発表された場合の市町の対応(予定を含む)



静岡県土砂災害警戒情報 第3号

平成19年8月6日 20時00分  
静岡県 静岡県庁 公共関係課

【警戒対象地域】  
笠原市 藤枝市、遠野町、小山町、新富町 伊豆市の国府、伊豆市 御前町、大淵町  
沼津市 藤枝市 沼津市 沼津市

【警戒理由】  
\* 理由: 最近に警戒区域となった市町村を申し上げます。

【警戒区域】  
【警戒区域】  
【警戒区域】

【お問い合わせ先】  
静岡県庁 公共関係課 電話: 054-261-2141 静岡県庁庁舎1階 公共関係課 公共関係課  
静岡県庁 公共関係課 電話: 054-261-2141 静岡県庁庁舎1階 公共関係課 公共関係課  
静岡県庁 公共関係課 電話: 054-261-2141 静岡県庁庁舎1階 公共関係課 公共関係課



## 第4回 静岡県内総合流域防災協議会の開催

8月8日、「静岡県内総合流域防災協議会」が静岡市内で開催されました。

この協議会は、静岡県を6つの圏域に分割し、圏域毎に国土交通省と静岡県、政令市が水害・土砂災害対策の当面の課題や整備状況等に関して、情報共有・意見交換を行うとともに、共通の認識のもとに連携し、それぞれの事業の進め方を調整し、効果的・効率的に安全度の向上を図っていくことを目的に開催されています。

協議会当日は、国や県、政令市の圏域毎の構成員が出席し、平成19年度の事業の進め方等について活発な意見交換が行われました。

なお、この協議会のとりまとめ結果につきましては、9月13日より、国土交通省静岡河川事務所や県河川砂防局などのホームページで公開し、県民の皆さまへ提供しています。

## 三河内川床固工（静岡河川事務所 直轄砂防事業）が完成

安倍川水系三河内川（静岡市葵区梅ヶ島）で整備していた床固工6基がこのほど完成し、8月23日、「完成式典」が三河内川黄金広場公園で開催されました。

式典には上川陽子衆議院議員や大口善徳衆議院議員をはじめ亀江国土交通省砂防部長や今井静岡県河川砂防局長が出席し、梅ヶ島小中学生による植樹や、タイムカプセルの設置、地元自治会による郷土芸能が披露されました。



亀江砂防部長のあいさつ



記念植樹

## 大谷崩300年 第4回 ワークショップの開催



パネルディスカッション

9月8日、大谷崩300年事業シンポジウムのプレイベントとして第4回ワークショップが静岡市視聴覚センターで開催されました。

「大谷崩と安倍川～崩れと生きる1000年都市の恵み」というテーマでパネルディスカッションが行われ、約100名の聴講者が熱心に聞き入っていました。

大谷崩300年事業シンポジウムは10月28日にもくせい会館（静岡市葵区鷹匠）で開催される予定です。

## ジオフォーラム2007 in 静岡の開催 ～全国治水砂防協会静岡県支部協賛～

9月21日、「ジオフォーラム2007in静岡」が静岡市内で開催されました。今回は「地質リスクに対する事例と提案」をテーマに地質調査協会や市・県の関係者より6件の報告がありました。また、京都大学防災研究所釜井教授により「都市域の斜面災害」と題した特別講演が行われました。



京都大学防災研究所 釜井教授の特別講演



## 由比地すべり期成同盟会総会の開催

7月3日、平成19年度由比地すべり対策事業推進期成同盟会の総会が由比町役場で開催されました。総会には、来賓として中部地方整備局河川部の浅野河川調査官が、静岡県からは近松建設部理事が出席されました。総会では、平成19年度計画案や予算案が承認され、また、石井富士砂防事務所長より、本年度の地すべり調査や工事内容等の事業計画が報告されました。



近松建設部理事の祝辞

## 事業評価監視委員会の開催

9月7日、平成19年度第3回事業評価監視委員会（第1回：7月24日・第2回：8月10日）が県庁で開催されました。砂防関係事業の再評価の対象は、地すべり対策事業「上村（浜松市天竜区水窪町）」、「背山（浜松市北区引佐町）」で「事業を継続するのが相当。」との評価を受けました。また、事後評価の対象は、砂防事業「麓川（富士宮市）」、地すべり対策事業「西渡（浜松市天竜区佐久間町）」、「西山寺（由比町）」、「エツ沢（島田市）」で「改善措置の必要性は特に認められない。」との評価を受けました。

## 社日本地すべり学会中部支部現地検討会の開催



鈴木地すべり対策課長の説明

9月13日～14日、平成19年度(社)日本地すべり学会中部支部の現地検討会が由比町で開催され、中部各県から49名が出席しました。

初日は、由比地すべり防止区域内をサッタ峠から西倉沢まで、由比の地形・地質・自然環境の視察、地すべり変状状況の観察、直轄地すべり対策工事の見学等を行いました。

2日目は、富士砂防事務所の鈴木地すべり対策課長から直轄地すべり対策事業についての説明があり、参加者が前日の現地調査結果を踏まえて活発な議論を行いました。

## 社日本地すべり学会研究発表会及び現地見学会の開催

8月29日～31日、平成19年度(社)日本地すべり学会第46回研究発表会及び現地見学会が三重県四日市市で開催され、県内からは10名の職員が参加しました。

研究発表会では、国内外の研究者及び技術者による研究成果発表、最先端技術の紹介が行われ、現地見学会では、平成16年台風21号により甚大な被害を受けた旧宮川村（現大台町）の災害現場で、災害発生状況や対策工法の説明が行われ、活発な意見交換がなされました。



実行委員長 林拙郎 三重大学教授のあいさつ



平成19年	7月	5日	土砂災害防止法連絡会
	8月	1日	分野別防災訓練
	9月	1日他	総合防災訓練
	10月	3・4日	第20回砂防研究報告会（砂防会館）
		11・12日	滋賀県砂防協会の視察（木和田川、由比地区）



### 全国治水砂防促進大会及び静岡県支部砂防関係事業促進要望

日 程	平成19年11月27日(火) 10:30～
場 所	砂防会館 シェーンバッハ・サボー 1階 「利根」(東京都)
要 領 等	詳細は、協会本部から要領が到着次第、会員の皆様に連絡させていただきます。大会終了後、静岡県支部砂防関係事業促進要望を行いますので、よろしく願いいたします。
問い合わせ先	砂防協会静岡県支部 TEL.054-221-3042



昨年の大会の様子

### 市町等砂防事業担当職員研修 <主催:全国治水砂防協会静岡県支部>

日 程	平成19年11月1日(木)～2日(金)
集 合	平成19年11月1日(木) 10:00 掛川駅周辺
研修内容 ・ 場 所	研修(土砂災害対策における市町の役割等): 滋賀県彦根市 現地研修: 大津市周辺の砂防関係事業
対 象 者	市町砂防担当職員、土木事務所砂防担当職員
問い合わせ先	砂防協会静岡県支部 TEL.054-221-3042



草津川オランダ堰堤(大津市)  
土木学会選奨土木遺産 提供: 滋賀県

### 大谷崩300年シンポジウム ～山の崩れ・川の流れ・人の暮らし～

概 要	「大谷崩」は、1707年の宝永地震を契機に崩れ始め、今年で300年を迎えます。安倍川の恵み等についてこれまで行った4回のワークショップを踏まえ、それらを集大成するシンポジウムを行います。
開 催 日	平成19年10月28日(日) 13:30～
会 場	静岡県総合研修所「もくせい会館」富士ホール (静岡市葵区鷹匠3-6-1 TEL.054-245-1595)
参 加 者	防災関係者(国・県・市町)及び一般
主 催	大谷崩300年事業実行委員会
問い合わせ先	国土交通省 静岡河川事務所 TEL.054-273-9104



大谷崩 提供: 静岡河川事務所

### 環富士山火山防災シンポジウム ～宝永噴火から300年 どう備える、富士山噴火～

概 要	1707年の宝永噴火から300年を迎え、活火山・富士山への理解を深め、火山防災への備えを強化するよう、海外からの専門家を交え、シンポジウムを行います。
開 催 日	平成19年11月25日(日) 9:00～ ※現地見学会: 11月26日(月)
会 場	富士宮市民文化会館(富士宮市宮町14-2 TEL.0544-23-1237)
参 加 者	国内外の火山学者、防災関係者及び一般
主 催	環富士山火山防災連絡会、富士砂防事務所 (後援: 静岡県、全国治水砂防協会、砂防学会など)
問い合わせ先	国土交通省 富士砂防事務所 TEL.0544-27-5221



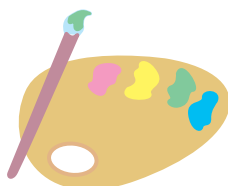
富士山大沢崩れと大沢扇状地  
提供: 富士砂防事務所



## 土砂災害防止に関する絵画・ポスター・作文の応募のお礼

6月1日～9月15日の間、県内の小中学生の皆さんに土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めていただくため、作品を募集したところ、多数の応募をいただきました。誠にありがとうございました。

なお、入選発表及び表彰式は平成20年3月を予定しております。



### 【応募状況】

部 門	小学生	中学生	合 計
絵 画	1	12	13
ポスター	33	47	80
作 文	15	9	24
合 計	49	68	117

## お知らせコーナー

### 第20回 土砂災害防止写真コンテスト

荒廃山地や土砂災害、普段の暮らしや自然の中にある砂防施設、その他土砂災害防止に関連のあるものをテーマに、写真を募集しています。

応募資格	制限はありません
サイズ	白黒、カラープリントとも四切りサイズ (パノラマ可、単写真のみ) ※デジタルカメラでの応募も可能ですが、電子データでの応募は受け付けておりません。
締め切り	平成20年3月31日(消印有効)

〈お問合せ先〉

社全国治水砂防協会 写真コンテスト係 TEL.03-3261-8386  
詳しくはホームページ <http://www.sabo.or.jp/> をご覧ください

### 2009 砂防カレンダー 「砂防工事現場周辺の山・谷・川」写真コンテスト

砂防関係工事や、その周辺の仕事・暮らし・余暇活動・山・崩れ・溪流・滝・花、動物等をテーマに、写真を募集しています。

応募資格	制限はありません
サイズ	カラー写真で四切りサイズ
締め切り	夏の写真 / 平成19年 9月30日(終了) 秋の写真 / 平成19年12月26日 冬の写真 / 平成20年 3月31日 春の写真 / 平成20年 6月30日 ※いずれも消印有効

〈お問合せ先〉

NPO法人 砂防広報センター TEL.03-3239-1711(代表)  
詳しくはホームページ <http://www.sabopc.or.jp/> をご覧ください



- 10月15・16日 東海4県砂防担当者会議(熱海市)
- 25日 2007年火山砂防フォーラム(宮崎県)
- 28日 大谷崩300年シンポジウム
- 11月 1～2日 市町等砂防担当職員研修
- 19～23日 第5回火山都市国際会議 島原大会
- 25日 環富士山火山防災シンポジウム
- 27日 全国治水砂防促進大会及び静岡県支部砂防関係事業促進要望
- 1月 22日 東海地区全国治水砂防協会支部長・砂防課長会議(掛川市)

### 【表紙写真】



秋景色〈撮影地：芝川町〉  
伊藤 峰雄さん(富士市)

※砂防協会では表紙に掲載する静岡県内の写真を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

### 編集・後記

9月から砂防協会事務局員となり、今月号より編集作業を担当することになりました。「砂防だより」の編集作業を通じて砂防がとても身近に感じるようになりました。引き続き皆様の役に立てる紙面を目指していきたいと思っておりますので、今後とも「砂防だより」をご愛読いただきませう、よろしくお願い致します。



砂防協会事務局員 小塩 翠

砂防だよりは砂防室ホームページからもご覧いただけます。HPアドレス：<http://doboku.pref.shizuoka.jp/sabou/index.html>